

くも 雲ってなに？

そら う すいてき
空に浮かぶ水滴や、
こおり つぶ
氷の粒のあつまりだよ。



くも こう せい いん 雲の構成員たち



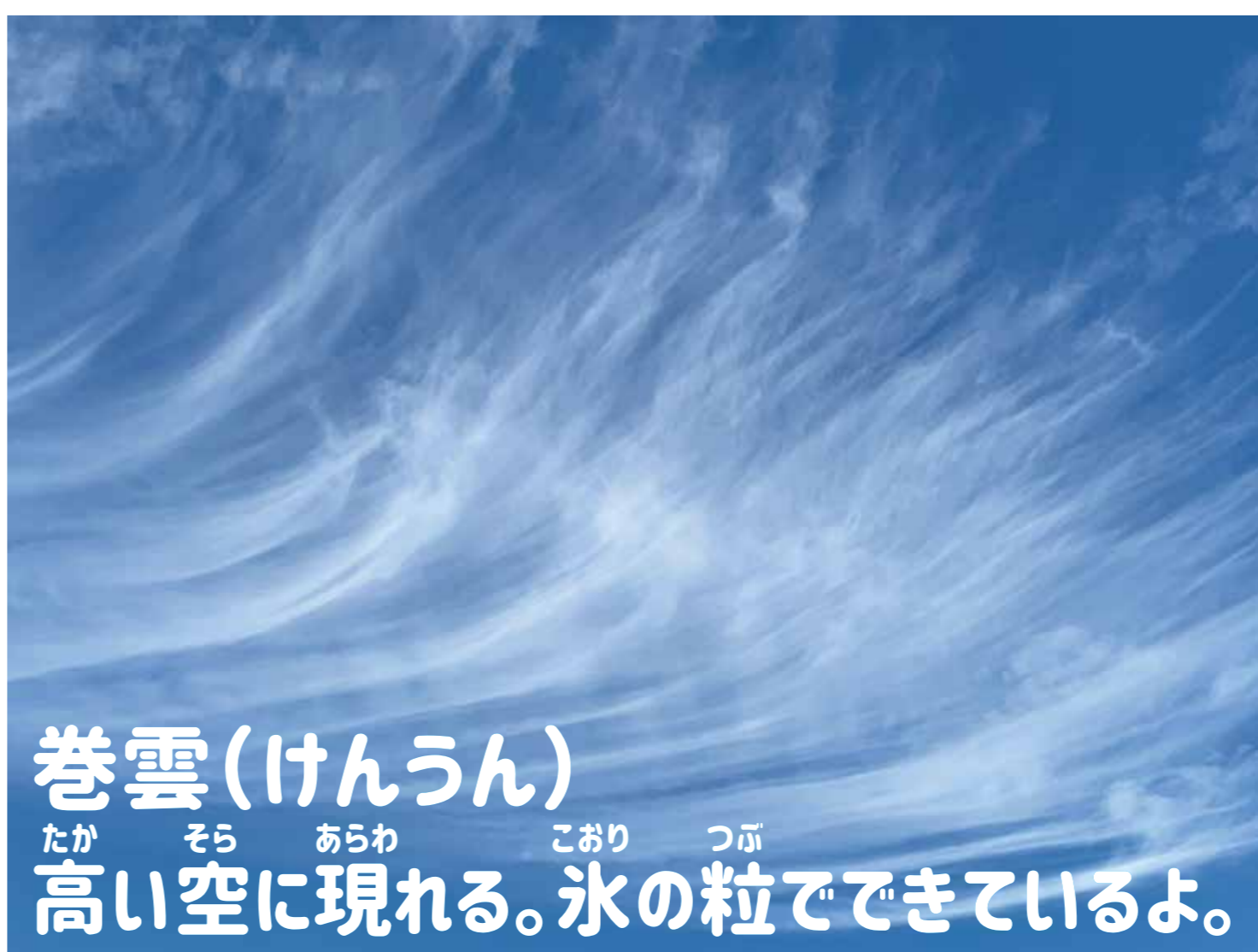
くも なか みず つぶ こおり つぶ
雲の中には水の粒や氷の粒など
いろいろ りゆう し
色々な粒子がいて、
それぞれにへん か
変化しているよ。
それらがあつ まつ たものが、くも
雲なんだ。



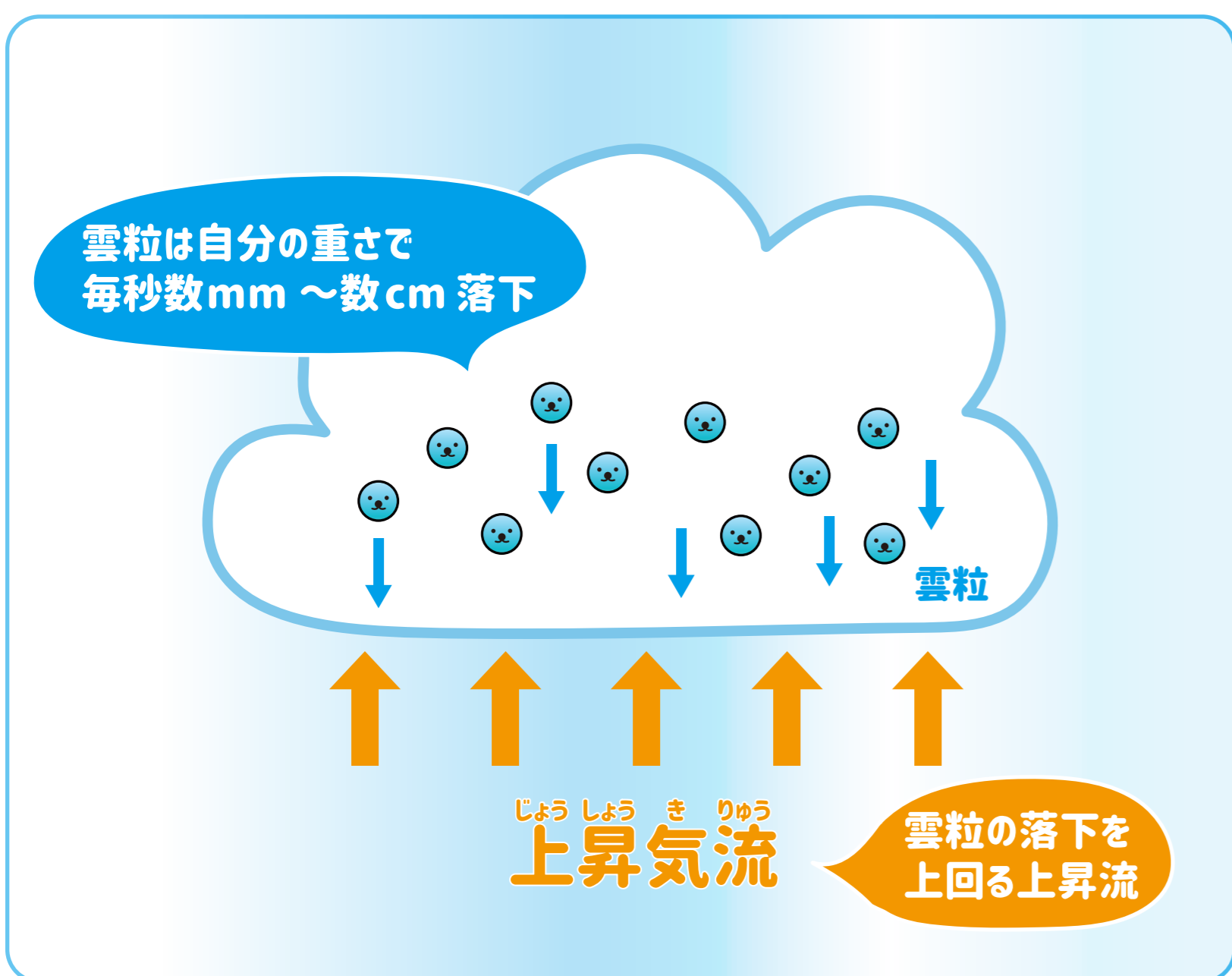
くも つぶ み わ 雲の粒を見分けるポイント

- モクモクな雲は水の雲
- なめらかな雲は氷の雲

これで大体わかるよ！



どうしてみず こおり つぶ
水や氷の粒が
そら う
空に浮いてるんだる？

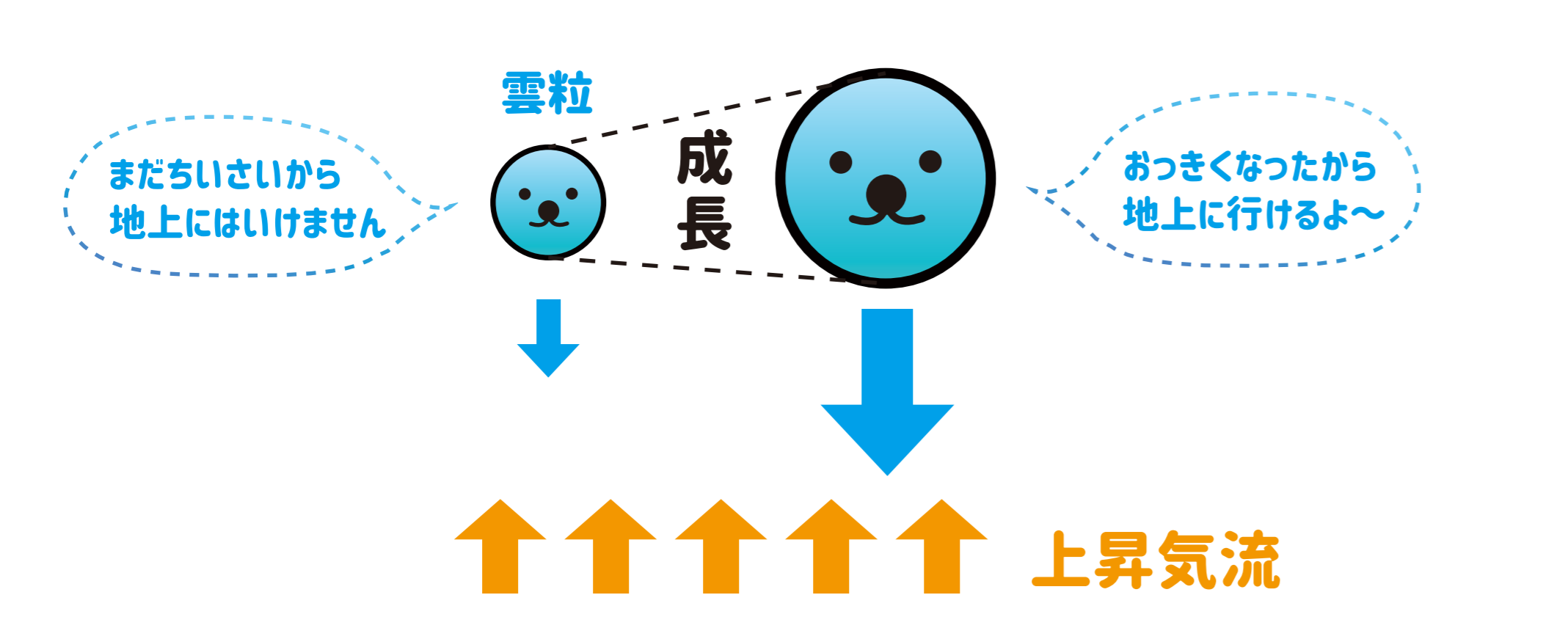


たい き ちゆう じょうしやう きりゆう うえ む かぜ なか
大気中には、上昇気流(上へ向かう風の流れ)が
あちこちにあるんだ。雲粒は下へ落ちようとするんだけど、
つぶ おお きの大きさがとても小さいから、上昇気流の力の方が
つよ つよ
強くなって、おちてこれないんだよ。

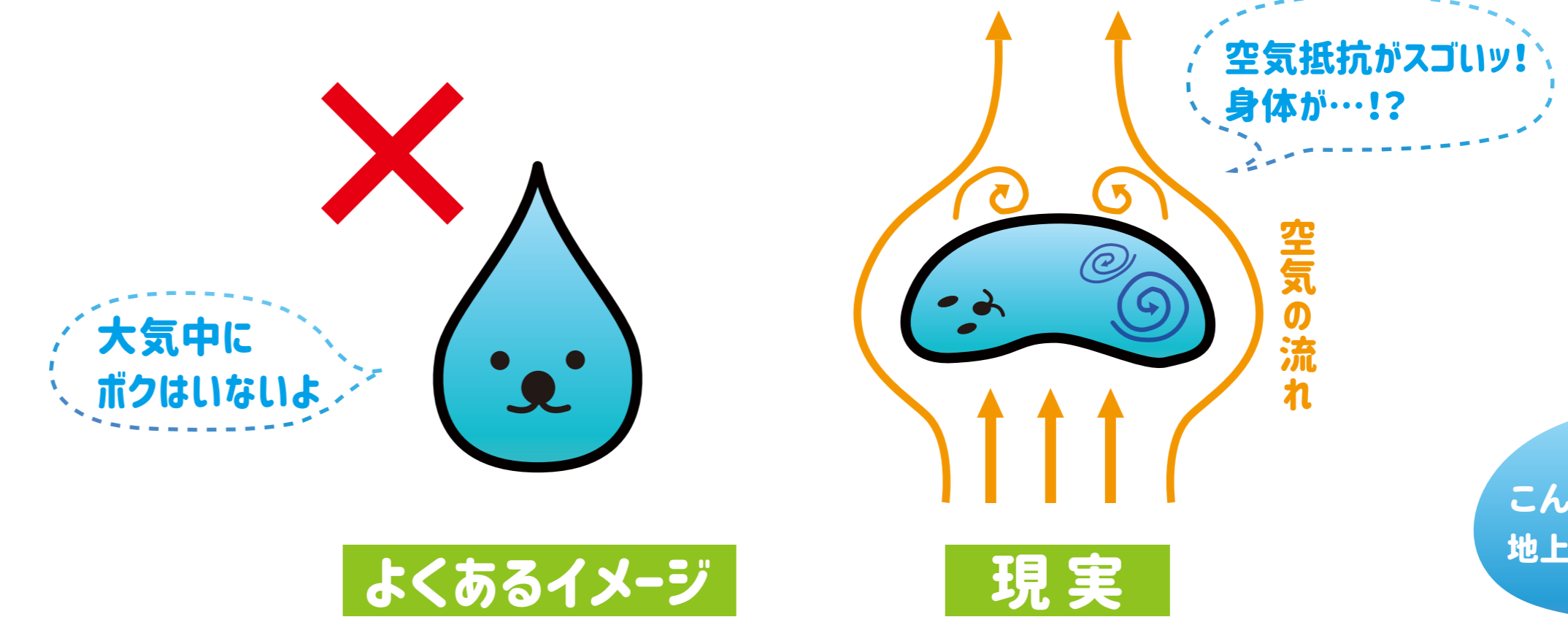
と 飛んでるんじゃないなくて、
お 落ちてこれないんだるね〜。

あめ 雨はどうして降るの？

おお くも つぶ お
大きくなった雲粒が、落ちてくるからだよ。



くも なか
雲の中でだんだんと雲粒が成長して大きくなると、
じょうしやうきりゆう ささ
上昇気流が支えられずに雨となって降ってくるよ。



あめ つぶ お
雨の粒は落ちてくるときに空気の抵抗を受けるから、
くう き ていこう う
おまんじゅうみたいな形になっているんだよ。

こんな形に!? 大変な旅をして、
地上までやってきてるんだるね〜